



組織部速報

2023年 6月15日
No. 72

第39回JR総連大会開催!



山口委員長あいさつ

6月5日、JR総連第39回定期大会が東京都・目黒さつきビルにおいて開催されました。冒頭山口委員長から、①2023JR総連春闘の総括について、②地方ローカル線を守る取り組みについて、③安全問題、働き方改革について、④平和を守る取り組みについて挨拶がありました。

質疑では、貨物労組から行山代議員と村上代議員が、①2023JR総連春闘総括について、②評価制度・C&C活動の実態について、③統一地方選挙について、④存立基盤確立にむけた取り組みについて発言しました。

あわせて九州地協平井代議員から、長崎や知覧における平和を守る取り組みの実践と、世代交代・組織強化について発言がありました。また、JR東労組の代議員からは、国府津運輸区の懲罰的な日勤教育の問題、さらに5月23日に発生した東海道線大船駅異線現示・異線進入についても、様々な背後要因があるにもかかわらず会社は運転士個人を恫喝し責任追及に終始するといった、まさに福知山脱線事故前夜の状況に陥っていることが報告され、原因究明委員会を通じて安全文化の再確立をめざすといった特徴的な発言がありました。

代議員15名からの発言の後、執行部からの答弁、熊谷書記長の総括答弁が行なわれ、その後全ての議案が満場一致で採択され大会は成功裡に終了しました。

また、今大会において元九州地本執行委員長の西原重延氏が、長きにわたってJR総連九州地協の役員を担った功績を称えられ、表彰を受けました。

代理でJR総連功労者表彰を受賞した九州地協・平井代議員(写真左)

